

はじめに

- ・ この单元では、コンビニエンスストアの今日的な問題（環境、福祉、健康など）に対する取り組みを、子供がどれだけ自分から見つけられるかがポイントになります。従って、教師側からその視点について調べるよう指導するのは、できるだけ慎みましょう。
- ・ コンビニを探検する場合、あらかじめ見学先に連絡を取り、見学の趣旨、子供に話してほしいことや話してほしいことを十分に打ち合わせておく必要があります。
- ・ 営業に支障をきたさないよう、写真撮影、インタビュー時のマナーなど、子供たちへの事前指導に十分配慮するようにしてください。

各ステップにおける留意点

STEP 1 コンビニの不思議をたくさん見つけて紹介しよう

コンビニマップにコンビニの不思議を書きこむ

- ・ コンビニに見学する際は、「子供に見学したい」という意欲を感じさせることが大事です。教師から「見学しよう」と投げかけるよりも、コンビニと自分のくらしのつながりを想起させ、自分から「コンビニについて知りたい」と思うような学習の流れを工夫するといいでしょう。社会科など、教科の学習から発展させて考えるという方法も考えられます。
- ・ 見学にあたっては、事前に見学先に連絡を取りましょう。子供が自分の目で自由に「不思議」を発見するという趣旨を伝え、説明などはできる限り行わないようお願いしておくといいでしょう。ただし、情報化への取り組みなど、見るだけでは発見できない内容については、積極的に話してもらえよう、お願いしておくといいでしょう。

コンビニの不思議をいろいろな視点で仲間わけする。

- ・ 自分の見つけた不思議を仲間わけする際に、どの仲間わけに入れればよいか迷う子供がいます。どんな点を不思議と感じたか詳しく話を聞き出すことによって、それがワークシートのどこに位置付くかを自分で判断できるよう支援してください。教師が、「どの仲間に入るか」を判断しないでください。

STEP 2 コンビニの不思議をもっと探検しよう

コンビニの不思議について、もっとくわしく調べる計画を立てる

- ・ 予想される子供の学習活動を7つの視点で取り上げてあります。これらの活動は、思いに合わせて子供が自分で選択できるように配慮するとよいでしょう。また、7つの活動をすべて選択する必要はありません。

計画にしたがって、各自で方法を選びながら、調べ活動を行う。

- ・ 子供が調べ活動に行くと予想されるコンビニエンスストアに連絡を取り、学習の趣旨や子供たちに話して聞かせてほしいことを話し合っておくとよいでしょう。

STEP 3 コンビニ探検記をわかりやすくまとめよう

調べてわかったことやコンビニの取り組みに対する自分の考えが、コンビニ店の人に伝わるように工夫してまとめる。

コンビニではたらく人に、自分が見つけたコンビニの不思議を伝える。

- ・ 探検記の読み手が誰かを意識するようはたらきかけるとよいでしょう。
- ・ 探検記の表現方法は、ホームページ、画用紙、模造紙など、多様に考えられます。全員が同じ表現方法を採用する必要はありません。教師が表現方法を指定するよりも、子供の選択に任せたいほうが、効果的でしょう。